

伊予銀行地域文化活動助成制度
第63回 助成団体紹介資料

2023年 4月

目 次

<中予地区>

1. NPO 法人 GCM 庚申庵倶楽部
2. 道後吟友会総本部
3. 完熟・一期座
4. あすなろピッコロえひめ腹話術研究会
5. 北井門獅子舞保存会
6. 鷹子町獅子舞保存会

<東予地区>

7. 高部地区伝統文化こども教室実行委員会
8. 西田獅子舞保存会
9. 愛媛県ハーモニカ協会

<南予地区>

10. 楠町祭り実行委員会
11. 舌間唐獅子保存会
12. 村前大根一座&波平一座
13. 四ツ太鼓保存会

本店営業部推薦	<small>ほうじん こうしんあんくらぶ</small> NPO法人 GCM庚申庵倶楽部	設 立	2003(H15).2
	<small>まつい しのが</small> 理事長 松井 忍 氏	会員数	75名

庚申庵は、1800年に松山の俳人 くりたちょうど 栗田禎堂が、俳諧に専念するために建てた草庵です。

松山市が公有化して史跡庭園として整備し、2003年の開園に先立ち、NPO法人 GCM 庚申庵倶楽部様が設立されました。以降、ボランティア中心で こうしんあん 庚申庵の管理を行い、施設や庭園の整備、一般客へのガイド等を実施している他、地域文化の研究・振興、禎堂顕彰活動等に取り組んでいます。

「春の庚申庵ふじまつり」でのコンサート、「秋のイベント」での連句教室や観月祭、禎堂作品の輪読会や、愛媛 ゆかり 縁の文学作品など地域文化に関わる多彩なテーマの講座を定期的を開催しています。

今年の秋には開園 20 周年記念として、これまでの地域文化講座資料や街歩きの実績を踏まえて、地域の歴史と文化について、小学生向けに分かりやすくまとめた冊子「味酒野をさぐる」(仮)の出版を企画しています。



道後支店推薦	どうごぎんゆうかいそうほんぶ 道後吟友会総本部	設 立	1938(S13).10
	会長 <small>わかさ せんしゅう</small> 若狭 仙秀 氏	会員数	40名

道後吟友会様は、1938年に設立された歴史ある吟詠団体です。

設立翌年3月に、湯祈祷行事として第1回吟詠大会を開催して以降、吟詠愛好者が集結する大会を開催しており、現在では5年に1回、記念大会として開催しています。

また、新春発表会と総会で、会員が日頃の練習の成果を発表する他、愛媛県剣詩舞総連盟の各種行事やコンクールに毎年参加し、全国大会に向け研鑽を積んでいます。

日本古来の伝統的芸術である吟詠剣詩舞を通じて、青少年への吟道普及発展に努めており、春の観光シーズンの幕開けを飾る道後温泉祭りにも協力しています。

今年3月には、コロナ禍により3年ぶりとなった「道後温泉祭協賛 第85回記念 吟詠剣詩舞大会」を開催しました。今回は5年ごとの記念大会も重なり、コンクールや来賓による模範吟詠剣詩舞等が披露できました。

道後温泉祭協賛
第85回記念 吟詠剣詩舞大会

と き 令和5年3月19日(日) 8時45分~17時
と ころ エスポワール愛媛文教会館

主催 道後吟友会
後援 道後温泉まつり実行委員会
松山市 山新聞社
愛媛放送・テレビ愛媛
愛媛CATV
愛媛県吟詠剣詩舞総連盟



横河原支店推薦	かんじゆく いちござ 完熟・一期座	設立	2007(H19).9
	事務局 なかむら しげあき 中村 茂昭 氏	会員数	16名

完熟・一期座様は、坊っちゃん劇場内で県内在住の40歳以上の一般の方を対象の劇団として、2007年に設立されました。

人生経験豊富な中高年パワーを発揮した舞台づくりを目指すと共に、愛媛の地域文化を全国に発信すること、後世に残すことを目的とし、地元ゆかりの題材を取り上げ、台詞も伊予弁が中心です。

毎年4月に、松前町の「義農祭」、12月に松前町内の公民館合同イベントとして松前町文化センターで開催されるイベントに参加し、「伊予弁『再婚申込み』」、「あっぱれ作兵衛義農伝」、「念ずれば花ひらく～真民さんのタンポポ人生～」などオリジナル作品を上演。2011年には東京で開催された全国シニア演劇大会にも参加しました。

今年9月には15周年記念公演として、壇之浦で敗れ当地に流れてきた武者の時代物「悠久の里物語」を坊っちゃん劇場で上演予定です。



郡中支店推薦	<small>ふくわじゅつけんきゅうかい</small> あすなるピッコロえひめ腹話術研究会	設 立	1982(S57).11
	会長 <small>にしだ よしこ</small> 西田 好子 氏	会員数	36名

全日本あすなる腹話術協会の初心者研修会をきっかけに参加者が集まり、1982年にあすなるピッコロえひめ腹話術研究会様が設立されました。現在では、松山支部を含め5つの支部が活動しています。

「みんなに夢と笑顔と感動を!!」をテーマに、市民芸能大会や地域イベントへの出演、高齢者施設慰問等、子供からお年寄りまで幅広い世代を対象に上演し、クイズや歌、踊りなども取り入れながら、見る人が感動する腹話術の上演を目指しています。

腹話術は、心のケアや幼児の心理発達にも有効であることから、小・中・高等学校で初心者講習会をはじめ、保育士の研修会に講師としても参加。今後は、誰でも気軽に参加できる「腹話術初心者研修会」の開催や、人形に実際に触れる腹話術体験なども予定しており、腹話術の普及発展に努めていきます。



椿支店推薦	きたいどししまいほぞんかい 北井門獅子舞保存会	設立	1980(S55)
	会長 <small>たくみ</small> 宅見 <small>わたる</small> 亘 氏 (ご出席: 会員 <small>おち</small> 越智 <small>ようすけ</small> 陽介 氏)	会員数	11名

北井門獅子舞保存会様は、松山市北井門に古くから伝わる獅子舞を保存伝承されています。

由来は定かではありませんが、松山地区に残る数少ない雄獅子、かつ大型で昔ながらの木製内彫りの獅子で、毎年秋祭りで白山神社への奉納の他、公民館や地元企業、個人宅 10 軒-程でも披露しています。

激しい演舞が特徴で、中でも圧巻なのが、田畑を荒らす獅子が片足を伸ばしてかがんだ姿勢から一気に体勢を伸ばし、3度天を仰いで威嚇する様が見せ場の「脚冠^{あしかんむり}」と、猿が眠る獅子をからかい、怒りに目覚めた獅子と相対し、最後に獅子を仕留めるまでを体いっぱいを使い表現する「決戦」です。

地区外の方々にも興味を持ってもらおうと、SNS での発信や YouTube での動画公開も行っており、今後は松山市と台湾台北市松山区との交流事業に関わることを目標にしています。



久米支店推薦	たかのこちょうししまいほぞんかい 鷹子町獅子舞保存会	設 立	2004(H16). 4
	会長 <small>まつなが</small> 松永 <small>あつし</small> 淳 氏	会員数	23 名

鷹子町獅子舞保存会様は、松山市鷹子町に古くから伝わる獅子舞を保存伝承されています。

正確な由来は定かではありませんが、砥部から伝習したと伝えられ、雄獅子で荒々しい舞が特徴です。大人獅子と子供獅子があり、毎年、日尾八幡神社の秋祭りで披露しています。

雄獅子のため、舞手は基本的に男性・男児のみでしたが、5～6年前から女子も太鼓で参加するようになりました。子供獅子は年間を通して出番が多く、町内運動会、盆踊り、日尾八幡神社の夏越祭、久米地区子供獅子舞競演会等へ参加しています。

演目は「山さがし」「四角」よすま「今神楽」「とんどこ」等で、20年程前から雌獅子の「南久米町獅子舞保存会」と共に「夫婦獅子」を披露し、地域を盛り上げています。

昨年は、初めて地元の高齢者施設を訪問したところ大好評を博したため、今年も継続して慰問活動を行う予定です。



波止浜支店推薦	たかべちくでんとうぶんか 高部地区伝統文化こども教室実行委員会	設立	2000(H12).4
	会長 ひろた ひでひさ 廣田 秀久 氏	会員数	32名

高部地区伝統文化こども教室実行委員会様は、今治市高部地区の歴史と、継獅子の伝統を子供達に伝えることを目的に設立されました。

高部獅子舞保存会では、厳しい練習を積み高度な技術を習得した子供のみが出演可能ですが、委員会では地域の全ての子供に門戸を拡げ、歴史文化と獅子舞に親しんでもらい、将来の後継者を育てようと活動しています。

会員の中心は女子のため、継獅子の上ではなく下で行う「つかいこみ」「鈴の舞」「狩人」などの演目を披露することが多く、5月の高部巖島神社での奉納や、愛媛県民文化会館で開催される「地域伝統文化キッズカーニバル」の他、高齢者福祉施設慰問を行い、大変喜ばれています。

また、会では地元の神社や寺を訪問し、宮司らから歴史を学んでおり、その際は引率の保護者も同席していることから、若い人々や転入者が地域の歴史を知る良い機会ともなっています。



西条支店推薦	にしだししまいほぞんかい 西田獅子舞保存会	設 立	1983(S58).1
	会長 <small>そがめ まさふみ</small> 十亀 匡史 氏 (ご出席: 会員 <small>そがめ ひろゆき</small> 十亀 博行 氏)	会員数	40 名

西田獅子舞保存会様は、少子高齢化で継承困難となった大保木地区の獅子舞を、同地区の出身者が西田地区に居た縁で、有志が受け継ぎ設立されました。

油単に5~6名が入る「むかで獅子」で、横暴に暴れまわる獅子を、子役の「なぶり子」が太鼓を打ち鳴らしながら自由に操り、最後にはなだめて静ませるという、獅子となぶり子の掛け合いが見物です。

幼稚園から小学3年生までのなぶり子経験者が大人になって獅子舞に参加し、さらにその子供がなぶり子で参加するなど、親から子へ、地域・家族ぐるみで継承してきました。

歳旦祭では、石鎚神社で大晦日の除夜の鐘が鳴るとすぐ「一番舞」を行い、その後、地元の家々を廻ります。また、春と秋の大祭や公民館の文化祭、高齢者施設慰問や地域店舗のイベント等でも演舞を披露し、縁起物として地元で親しまれています。



壬生川支店推薦	えひめけん きょうかい 愛媛県ハーモニカ協会	設 立	2001 (H13). 6
	くきた まさはる 会長 莚田 正治 氏 (ご出席: 相談役 うさみ すずむ 宇佐美 進 氏)	会員数	220 名

愛媛県ハーモニカ協会様は、2001年に創設者が他県から帰郷した際、愛媛県内にハーモニカ団体が無かったことから、西条市でハーモニカ教室を開設し設立されました。

曲目は童謡・歌謡曲・演歌からジャズ・クラシックと幅広く、ハーモニカアンサンブルの演奏を通じて、その普及・発展を目指すと共に、県内における音楽文化振興のため活動しています。

毎年、丹原文化会館での「愛媛県ハーモニカ協会合同コンサート」や、県内3地区に分かれての地区別コンサートを開催。また、幼稚園・小学校等での音楽鑑賞会の開催、福祉施設への慰問、文化祭や敬老会等での演奏等、年間を通じて活動しています。

しばらく様々な活動が中止を余儀なくされていましたが、今年度から再開することから、それを祝して、9月には「松山秋の特別コンサート」、11月には定期公演「愛媛県ハーモニカ協会合同コンサート」を、世界的な演奏家やコンテスト優勝グループ等の特別ゲストを招いて開催する予定です。



八幡浜支店推薦	くすまちまつりじっこういんかい 楠町祭り実行委員会	設 立	1980(S55)頃
	会長 <small>ひらた とおる</small> 平田 徹 氏	会員数	51名

楠町祭り実行委員会様は、地元の総鎮守「八幡森神社」^{やはたもり}に伝わる五ツ鹿と相撲練り等の伝統を継承されています。

楠町地区は、単独で八幡神社の祭りを催行しており、委員会は春と秋の大祭全般を担います。

宵祭り和本祭りの2日間かけて、五ツ鹿は15名程が2組に分かれて地区全戸を回り、祭り当日は「宮出し」「おたび」で本式を奉納しています。当地の五ツ鹿は、華麗で上品な原型に比して、地域性が反映され、横の動きが派手な優雅な踊りとなっており、近年は「おたび」で2組と一緒に踊る略式の踊りも披露しています。

委員会では、灯籠祭り等の地区行事、神社周辺のライトアップや公民館行事、避難訓練等も主体となり実施しており、今後は相撲練りの小学生に、中・高校生のうちに五ツ鹿踊りを習得させ、将来いつでも祭りに参加できる伝承体制を作っていきたいと考えています。



八幡浜支店推薦	したまからししほぞんかい 舌間唐獅子保存会	設 立	1959(S34). 8
	会長 ぶくとみ よしひこ 福富 吉彦 氏	会員数	19名

舌間唐獅子保存会様は、八幡浜市舌間地区に古くから伝わる獅子舞を保存传承されています。

獅子舞は、明治時代中期頃、一宮神社新築の際に、瀬戸町川之浜の大工から習ったとの言い伝えが残されており、10月の秋祭りに一宮神社などで「本きり」と呼ばれる舞を披露し、神輿2体と共に、船での「海上渡御」を行った後、地区内の家々で「町まわり」を披露しています。

大太鼓・小太鼓各2名の子役が着用する前掛けは「バレン」と呼ばれ、当地区では色鮮やかな刺繍が施され、地域随一の豪華さと言われています。

太鼓は「でんでこ」と呼ばれ、リズムに特徴があり、大太鼓は獅子と掛け合いをする難しい役どころです。地元小学校の閉校により子供の確保が困難となっており、近年では地区外に在住する地元出身者のメンバーを加えて活動を維持しています。



内子支店推薦	むらさきだいこんいちざ なみへいいちざ 村前大根一座 & 波平一座	設 立	1970 (S45). 4
	座長 <small>やまもと</small> 山本 <small>しゅういち</small> 州一 氏 (ご出席:事務局 <small>しもの やすひこ</small> 下野 安彦 氏)	会員数	11 名

村前大根一座&波平一座様は、大瀬村前地区の人々が、松山市北条地区の「伊予万歳別府双葉会」から習い始め、1970年に「村前大根一座」として結成されました。

2005年に、内子町とドイツのローデンプルク市との姉妹都市締結 10周年を記念して、ドイツ公演を行うためあらたなメンバー募り、新メンバーを「波平一座」として迎えて現在に至っています。

毎年5月の内子町芸能発表会や、11月の伝統芸能発表会、敬老会などに参加しており、大洲市や野村町など地域外にも出向いて活動しています。

「松づくし」「豊年おどり」「義経千本桜」をメイン演目として披露しており、中でも「豊年おどり」は、おめでたい席で大変喜ばれています。

ローデンプルク市との姉妹都市締結で外国語指導助手がメンバーが加わったことがきっかけで、以降、継続して地元学校の外国人講師も参加するなど、国際色豊かな伊予万歳を披露しています。



卯之町支店推薦	よつだいこほぞんかい 四ツ太鼓保存会	設立	1999(H10)
	会長 <small>ながおか</small> 長岡 <small>まさひろ</small> 正宏 氏	会員数	12名

四ツ太鼓保存会様は、西予市宇和町の総鎮守三島神社の秋祭りで運行されている四ツ太鼓を保存
 伝承されています。

四ツ太鼓は牛鬼、曳船、五ツ鹿と共に、10月の三島神社秋季大祭で行われる練り行事に参加。
 当地の練りは、槍持ちや袴など、時代装束を纏った人々が練り歩く壮大なものです。

四ツ太鼓には、化粧を施し着物を着た男児4名が乗り込み、櫓に取り付けた大太鼓を囲んで打ちな
 らします。約40名の担ぎ手は、地元住民の他、東京や大阪からの帰省者等が中心で、ほとんどが乗り
 子経験者です。

秋祭りのクライマックスは四ツ太鼓と牛鬼の鉢合わせで、四ツ太鼓の担ぎ棒を牛鬼の胴体の竹柵に
 差込んで鉢合わせする様は迫力満点です。

コロナ禍でお練りは一時中止していましたが、昨年から名物の鉢合わせも再開しています。



